

情報画面について

情報機能には、「FM多重放送」、「メンテナンス」、「TEL」、「カレンダー」、「設定」があります。

「ETC」はオプションのETC機器を接続すると、設定・操作することができます。

1 情報画面を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **情報** にタッチして、情報画面を表示します。



(2) 操作したい機能のタッチスイッチにタッチします。

●情報画面から下記の操作を行うことができます。

タッチスイッチ	機能	ページ
設定	画面切り替え時の動画表現の設定、画面の表示設定、操作音の設定	1-29
FM多重	FM多重放送の表示	5-2
メンテナンス	消耗部品のメンテナンス案内時期設定・更新、販売店の設定	5-6
TEL	電話帳の表示	5-16
カレンダー	カレンダーの表示	5-17
ETC※1	ETCの設定	6-1

※1 機器が接続されていない場合は、タッチスイッチが表示されません。

FM多重放送を見るには

■ FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号などの音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

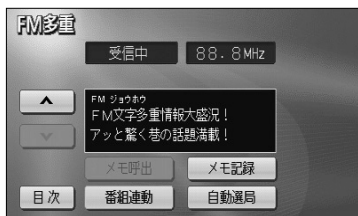
1 FM多重放送を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **情報** にタッチして、情報画面を表示します。



(2) **FM多重** にタッチします。



- FM多重画面が表示されます。
- 走行中に表示できない情報があり、放送局によって異なります。



お知らせ

- FM多重放送を表示中にFM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- FM多重放送を表示中のFM音声は、受信している放送局の番組の音声になります。
- オーディオ機能の電源がOFFのとき、またはAM放送（交通情報を含む）を受信しているときやFM多重放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、FM多重放送を表示させることはできません。

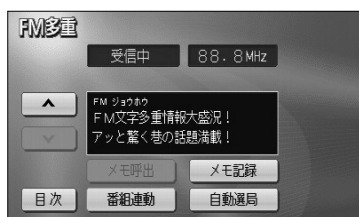
2 放送局を切り替えるには



- (1) **自動選局** にタッチします。

- FM音声を聞いているときは、**FM音声** の左右を押しても選局できます。

3 番組を切り替えるには



- (1) **目次** にタッチします。

- **番組連動** にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。(連動情報番組を表示中はタッチスイッチが強調表示されます)



- (2) 表示させたい番組の番号にタッチします。



アドバイス

▲ ▼ が表示されたときは **▲ ▼** にタッチしてページを送ることができます。

4 独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の受信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます）が送られる独立情報番組はページを送ってご覧ください。



(1) ▲または▼にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲または▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが**停止** に切り替わります）、文字情報が自動（約9秒おき）で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
- 文字情報の自動送りを中止するときは、**停止** にタッチします（タッチスイッチが**自動送り** に切り替わります）。また、自動送り中に▲または▼をタッチして文字情報を送ったときも、自動送りは中止されます。



お知らせ

緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

5 連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度みたいときは▲にタッチすると過去に受信した情報を見ることができます。



(1) ▲または▼にタッチして見たい文字情報をさがします。

- 文字情報の自動切り替えが中止され**最新情報** が表示されます。
- 最新の文字情報に戻すには、**最新情報** にタッチすると、もとの状態（文字情報が受信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

6 文字情報の記録のしかた



- (1) 記録したい文字情報を表示させ、**メモ記録** にタッチします。

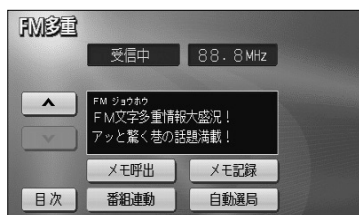
● 記録できる項目は最大20件です。



お知らせ

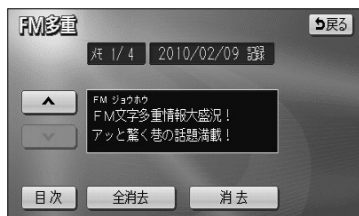
- 記録する内容によっては、20件記録できない場合があります。
- バッテリーやヒューズの交換などで、ナビゲーションとバッテリーの接続が断たれたときは、記録されていた文字情報はすべて消去されます。

7 記録した文字情報の呼び出し・消去



- (1) **メモ呼出** にタッチします。

● 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

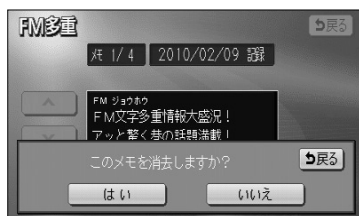


- (2) **▲** または **▼** にタッチすると記録した文字情報のページを送ることができます。

● **目次** にタッチするとP.5-3の**3**の(2)の画面を表示します。

- (3) **消去** にタッチすると、呼びだした文字情報を消去することができます。

● すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。



- (4) 消去するときは **はい** にタッチします。

● 消去を中止するときは、**いいえ** にタッチします。

メンテナンスを使うには

車の消耗部品（エンジンオイル、タイヤなど）の交換時期や各種点検時期などのイベント時期を案内することができます。

1 メンテナンス時期を設定するには

情報画面（P.5-1 参照）で **メンテナンス** にタッチするとメンテナンスメニュー画面が表示されます。

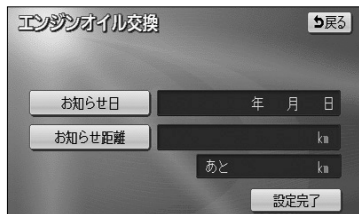


(1) メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- （パーソナル項目未設定）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
- （パーソナル項目未設定）以外にタッチしたときは、(3) の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。

(2) （パーソナル項目未設定）にタッチすると、メンテナンス案内（P.5-9の **3** 参照）が行われるときに表示される名称やマークの設定を行うことができます。

P.5-8の **2** を参照してください。



(3) **お知らせ日** または **お知らせ距離** にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

(4) 日付および距離を1文字ずつタッチして入力します。

- **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。
- **年**・**月**・**日** にタッチすると入力した文字を確定します。

(5) **完了** にタッチします。



お知らせ

メンテナンス時期を設定しても、メンテナンス案内の自動通知設定を「する」にしないとメンテナンス案内は行われません(P.5-9の**3** 参照)。

(6) 入力が完了したら **設定完了** にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときは、P.5-6～P.5-7の**1**の(1)～(6)を繰り返します。

2 パーソナル項目を設定するには

パーソナル項目（ マーク）に、お好きな名称やマークを設定することができます。パーソナル項目を設定しておく、メンテナンス案内が行われるときに設定した名称やマークが表示されます。



- (1) P.5-6の **1** の (1) の画面で （パーソナル項目）にタッチします。
- (2) メンテナンス案内（P.5-9の **3** 参照）が行われるときに表示したいマークにタッチします。



- (3) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 文字の入力方法は、P.4-27～4-28を参照してください。
- (4) **完了** にタッチします。



- (5) お知らせ日、またはお知らせ距離をP.5-6の **1** の (3) にしたがって設定します。



- (6) 入力が完了したら **設定完了** にタッチします。



お知らせ

- **修正** にタッチすると、名称を変更することができます。(3)、(4) の操作を行ってください。
- **マーク** にタッチすると、マークを変更することができます。(2) の操作を行ってください。

3 メンテナンス案内を設定するには

案内の自動通知設定を「する」にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。



- メンテナンスメニュー画面 (P.5-6 参照) で、**する** にタッチします。
- 案内の自動通知設定を解除する場合は、**しない** にタッチします。
- 初期設定は「する」に設定されています。



お知らせ

- すでに設定されている項目は「緑色」、案内時期を過ぎている項目は「オレンジ色」で表示されます。
- 車の使用状況などにより、設定した時期と実際の案内が行われる時期に誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じることがあります。

4 メンテナンス案内を表示するには

エンジンスイッチをONにし、ナビゲーションが立ち上がったあとに同時に4つまで表示されます。

メンテナンスお知らせ案内



- 5つ以上の項目の案内があるときは、**その他**（その他）が表示されます。



お知らせ

P.5-8の2の(3)で設定した名称は案内画面の中央部に表示されます。

- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときに案内が表示されません。

5 メンテナンス設定を消去するには

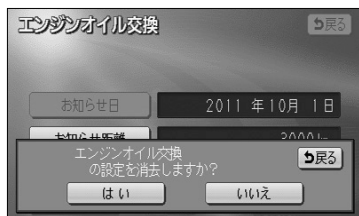


(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、設定を消去する項目にタッチします。

- **設定全消去** にタッチすると、すべての設定を解除します。



(2) **設定消去** にタッチします。



(3) **はい** にタッチすると設定が消去されます。

- 消去を中止するときは **いいえ** にタッチします。

6 メンテナンス設定を更新するには

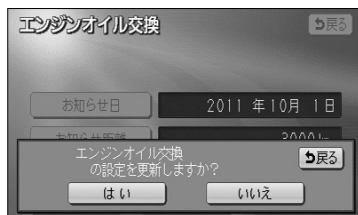


(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、案内時期を過ぎていている項目にタッチします。

- 案内時期を過ぎていているすべての項目を更新するときは、**自動全更新** にタッチします。



(2) **自動更新** にタッチします。



(3) **はい** にタッチすると前回設定された日付けや距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。

- 更新を中止するときは **いいえ** にタッチします。



お知らせ

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。(項目により、計算方法は異なります)
- 案内時期を過ぎていている項目がないときは、**自動全更新** は表示されません。

メンテナンスマーク一覧				
 ENGINE OIL	エンジンオイル交換	 BRAKE PAD	ブレーキパッド交換	
 OIL FILTER	オイルフィルタ交換	 車検 INSPECTION	車検	
 ROTATION	タイヤローテーション (タイヤ位置交換)	 LLC	冷却水 (LLC) 交換	
 TIRE	タイヤ交換	 BRAKE OIL	ブレーキフルード交換	
 AIR CLEANER	エアクリーナー交換	 ATF	ATF (オートマチックトランス ミッションフルード) 交換	
パーソナルマーク一覧				
				
	 保険 更新			
その他のマーク				
 その他	案内項目が5つ以上の場合			

5 情報機能

メンテナンスを使うには

7 利用する販売店を設定するには

メンテナンス機能でご利用される販売店を設定できます。



- (1) メンテナンスメニュー画面 (P.5-6 参照) で **販売店設定** にタッチします。



- (2) 地図の呼び出し方を選択します。

- **名称** P.3-26
- **住所** P.3-35
- **ジャンル** P.3-30
- **電話** P.3-32
- **登録リスト** P.3-37
- **周辺検索** P.3-40
- **郵便番号** P.3-34
- **履歴** P.3-38
- **マップコード** P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

- (3) **↑** にタッチすると、地図が移動して **↑** の位置を変更することができます。
- (4) スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。



- (5) 販売店名を入力する場合は **販売店名** にタッチします。
入力後、**完了** にタッチします。

- 文字の入力方法については、P.4-27～4-28を参照してください。

- (6) 電話番号を入力する場合は、電話番号の横にある **電話番号** にタッチします。

- (7) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。

- (8) **完了** にタッチします。

- (9) **販売店に行く** にタッチすると、そのまま目的地を販売店に設定することができます。

- すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-31を参照してください。
- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-4を参照してください。



お知らせ

ジャンル から販売店の地図を呼び出し、地図を動かさずに設定すると、表示した施設の名称・電話番号が自動で入力されます。

8 利用する販売店を修正・消去するには



- (1) 販売店設定後、メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で **販売店設定** にタッチします。



- (2) 修正したい項目の横にあるスイッチにタッチします。

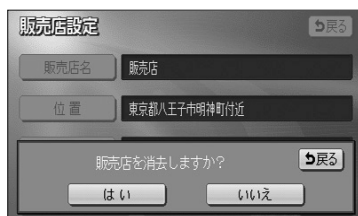
- 販売店名を修正する場合は **販売店名** にタッチします。

P.5-14の7の(5)の操作を行ってください。

- 販売店の位置を修正する場合は、**位置** にタッチします。P.5-13の7の(3)～(4)の操作を行ってください。

- 電話番号を修正する場合は、**電話番号** にタッチします。P.5-14の7の(7)～(8)の操作を行ってください。

- (3) 販売店を消去するときは **販売店の消去** にタッチします。



- (4) **はい** にタッチすると販売店が消去されます。

- 消去を中止するときは **いいえ** にタッチします。

電話帳を見るには

JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定・登録した地点に電話番号が登録されていれば、メモリ地点、目的地の電話番号を表示することができます。



- (1) 情報画面 (P.5-1 参照) で **TEL** にタッチします。
- (2) 見たい項目にタッチします。

- **目的地** にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます。(複数の目的地が設定されているときは設定されている目的地がリスト表示されます。この場合、見たい目的地にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます)
- **メモリ地点** にタッチしたときは、登録済みのメモリ地点がリスト表示されます。この場合、見たいメモリ地点にタッチすると、メモリ地点の名称と電話番号が表示されます。



- (3) 見たい施設の所在する都道府県にタッチします。



- (4) 見たい施設名称にタッチすると、施設の名称と電話番号が表示されます。



お知らせ

- メモリ地点に登録された電話番号に“－”（ハイフン）は表示されません。
- 目的地、メモリ地点の電話番号は、9桁以上の電話番号が存在する場合にのみ表示されます。



カレンダーを見るには

カレンダーを表示することができます。



(1) 情報画面 (P.5-1 参照) を表示します。

(2) **カレンダー** にタッチします。



- 現在の日付のカレンダー画面が表示されます。
- **▲月**・**▼月** または **▲年**・**▼年** にタッチすると、過去の年月、未来の年月を表示することができます。過去の年月、未来の年月を表示したときは **今月** にタッチして現在月を表示することができます。

メモ

5
情報機能

メモ

ETCシステムの操作

1 ETCシステムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

本機能は別売のナビ対応のETCユニットを接続した場合に表示・操作できます。詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。

- ・ ETCユニット …………… ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
- ・ ETCカード …………… ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。
ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
- ・ 車線表示板 …………… 料金所のETC車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況（ETC車線・混在車線・一般車線の区別）が表示されます。
- ・ 発進制御装置（ゲート） …… 料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
- ・ 路側表示器 …………… 料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
- ・ 路側無線装置 …………… 料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、ETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。

●情報画面（P.5-1参照）で、**ETC** にタッチすると、ETCメニュー画面になります。



① ETCカードメッセージ

現在のETCシステムの状態が表示されます。

- 「ETCカード未挿入」 …………… ETCカードが挿入されていません。
- 「認証中」 …………… ETCカードを読み込んでいます。
- 「ETCカード異常」 …………… ETCカードを読み込むことができません。
- 「ETCカード認証完了」 …………… ETCカードが挿入された状態です。
- 「システム異常」 …………… ETCシステムに何らかの異常が発生しています。
(含む、ETCアンテナ外れ検知時)
- 「未セットアップ」 …………… ETCがセットアップされていない状態。
- 「セットアップ完了」 …………… ETCがセットアップ完了している状態。

2 履歴表示

ETC履歴情報			戻る
最新	利用日	料金	
▲前	2009年 1月12日	3400円	詳細
	2009年 1月10日	3400円	詳細
	2009年 1月10日	250円	詳細
	2008年11月 2日	480円	詳細
▼次	2008年11月 2日	560円	詳細

(1) ETCメニュー画面で、**履歴情報表示** にタッチします。

(2) 次に表示された画面で、**▲前**・**▼次** にタッチして表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき **最新** にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

ETC履歴詳細情報		戻る
利用日時	2009年 1月12日 13時54分	
料金	750円	
利用区間	東名高速道路 横浜町田 ↑ 東名高速道路 東京平線(下り)	

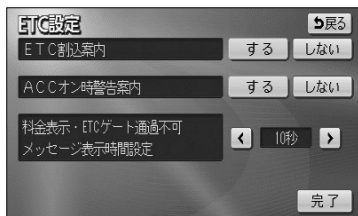
(3) **詳細** にタッチすると、利用区間が表示されます。



お知らせ

- 表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

3 ETCの設定



ETC割込案内



ACCオン時警告案内



- (1) ETCメニュー画面で、**設定** にタッチします。
- (2) 次に表示された画面で、**する** または **しない** にタッチしてETCの項目を設定します。

● ETC割込案内

ETCカードを差し込んだとき、有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに、割り込み情報の表示や音声が発声されます。

「ETCカードが挿入されました」

「ETCに異常が発生しました ETCがご利用できません」

「ETCゲートを通過できません」「支払い料金は〇〇〇〇円です」

● ACCオン時警告案内

エンジンスイッチを0 (OFF) から1 (ACC) の位置にしたとき、カードの差し忘れを画面表示と音声で警告します。

「ETCカードが挿入されていません」

- (3) **◀** または **▶** にタッチすると、ETCゲート通過時に表示される徴収料金の案内メッセージとETCゲートが通過できないときに表示される通過不可案内メッセージの表示時間を調整することができます。

- 表示時間を長くするときは **▶**、短くするときは **◀** にタッチします。(タッチするたびに、5秒ずつ変更されます)

- (4) 設定が終わったら**完了** にタッチします。



お知らせ

- ETC割込案内は、表示させている画面により割り込み情報が表示されず音声のみの案内となることがあります。また、ETCゲートを通っても表示されないことがあります。
- ETC音声と他の音声のタイミングが重なった場合、音声案内されないことがあります。
- 本機は料金表示の最小単位は1円ですが、音声案内の最小単位は10円となります(料金が257円の場合、250円と音声案内されますが実際に徴収される料金は257円です)。
- メッセージの表示時間の調整で最長(30秒)にすると **▶**、最短(5秒)にすると **◀** の色が反転して、タッチしても操作できません。

フロントカメラからの映像を見るには

別売のフロントカメラを装着した場合、停車時または低速走行時に本機のモニター画面に自動で前方のカメラ映像を映すことができます。



注意

- 本機（フロントカメラシステム）は障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。
- 雨滴などがレンズ前面カバーに付着時、夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。

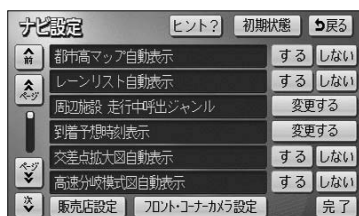


お知らせ

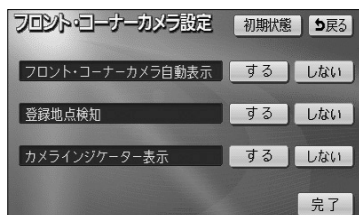
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 夜間または暗所ではフロントカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- 広角レンズを使用しているため、ナビ画面上に表示される映像は、実際の距離感覚とは異なります。

1 フロントカメラの設定をするには

- (1) 設定画面（P.2-8参照）で **ナビ設定** にタッチします。



- (2) **フロント・コーナカメラ設定** にタッチします。



- (3) **する** または **しない** にタッチしてフロントカメラの項目を設定します。

- フロントカメラの設定画面が表示されます。
- フロント・コーナカメラ自動表示
停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- 登録地点検知
自車が、指定した地点（P.6-7参照）から半径100m以内に存在し、停車または低速走行するとフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- カメラインジケータ表示
現在地画面にカメラインジケータを表示します。カメラインジケータが点灯している場合は、停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ることを示しています。



カメラインジケータ

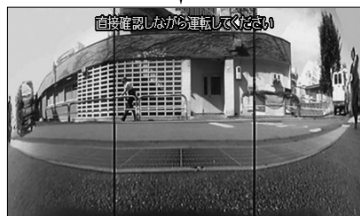
- (4) 設定が終わったら **完了** にタッチします。



お知らせ

フロント・コーナーカメラ自動表示および登録地点検知がどちらも「する」に設定されている場合は、フロント・コーナーカメラ自動表示の設定が優先されるため自車が存在する場所に関わらず停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

2 前方の映像を映すには



(1) 停車または低速走行します。

- フロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- 映像表示が可能な走行速度を超えると通常画面に戻ります。
-  を2秒以上押しても通常画面に戻ります。再度、 を2秒以上押すとフロントカメラの映像に切り替わります。



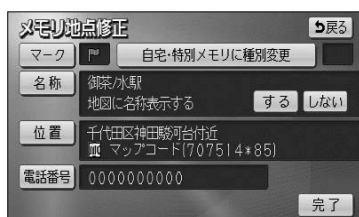
お知らせ

- 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。
(P.1-26参照)

3 フロントカメラの映像を表示する地点を指定するには

(1) 指定したい地点をメモリ地点に登録します。

- メモリ地点の登録方法については、P.4-20を参照してください。



(2) 登録したメモリ地点の修正画面（P.4-22参照）で **マーク** にタッチします。



(3) **マーク2** にタッチして、カメラマークを選択します。

- P.6-5の **1** の (3) の画面で登録地点検知を「する」に設定しているとき、カメラマークで登録したメモリ地点の半径100m以内で停車または低速走行するとフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

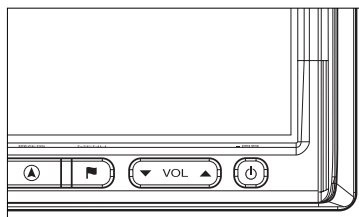


お知らせ

- 指定した地点の半径100m以内でのみカメラ映像を自動で表示させたい場合は、P.6-5の **1** の (3) の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」、登録地点検知を「する」に設定してください。
- 指定する地点はメモリ地点で登録するため、最大106件まで登録することができます。

4 予約モードに設定するには

P.6-5の1の(3)の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」に設定しているとき1度だけ、停車時または低速走行時にフロントカメラの映像に切り替えることができます。



(1) を2秒以上押します。

- 予約モードに設定され、停車時または低速走行時に1度だけ自動でフロントカメラの映像に切り替えます。



- 再度、を2秒以上押すと予約モードを解除します。

！ アドバイス

- 予約モードは、次に停車するときフロントカメラの映像に自動で切り替えたいなど、必要なときだけ自動で切り替えたいときに利用すると便利です。
- 停車中または低速走行中にを2秒以上押した場合は、予約モードに設定せず、その場でフロントカメラの映像に切り替わります。

コーナーカメラからの映像を見るには

別売のコーナーカメラを装着した場合、停車時または低速走行時に本機のモニター画面に自動でコーナーカメラの映像を映すことができます。



注意

- 本機（コーナーカメラシステム）は障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがレンズ前面カバーに付着時、夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。

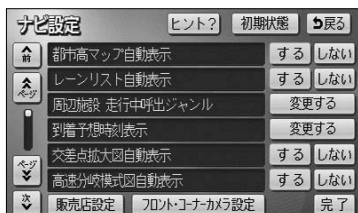


お知らせ

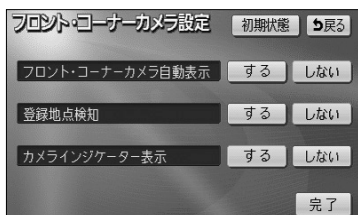
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 夜間または暗所ではコーナーカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。

1 コーナーカメラの設定をするには

(1) 設定画面 (P.2-8参照) で **ナビ設定** にタッチします。



(2) **フロント・コーナーカメラ設定** にタッチします。



カメラインジケータ

(3) **する** または **しない** にタッチしてコーナーカメラの項目を設定します。

- コーナーカメラの設定画面が表示されます。
- フロント・コーナーカメラ自動表示
停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- 登録地点検知
自車が、指定した地点 (P.6-14参照) から半径100m以内に存在し、停車または低速走行するとコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- カメラインジケータ表示
現在地画面にカメラインジケータを表示します。カメラインジケータが点灯している場合は、停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ることを示しています。

(4) 設定が終わったら **完了** にタッチします。



お知らせ

フロント・コーナーカメラ自動表示および登録地点検知がどちらも「する」に設定されている場合は、フロント・コーナーカメラ自動表示の設定が優先されるため自車が存在する場所に関わらず停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

2 前方の映像を映すには

現在地画面



(1) 停車または低速走行します。

- 前方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 映像表示が可能な走行速度を超えると通常画面に戻ります。
-  を2秒以上押しても通常画面に戻ります。再度、 を2秒以上押すとコーナーカメラの映像に切り替わります。



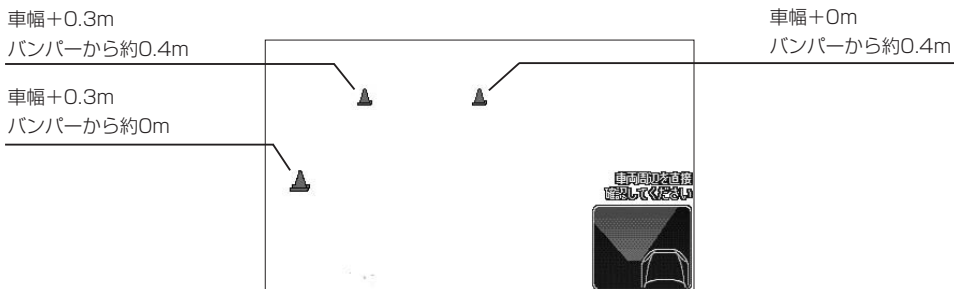
お知らせ

- 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。
(P.1-26参照)

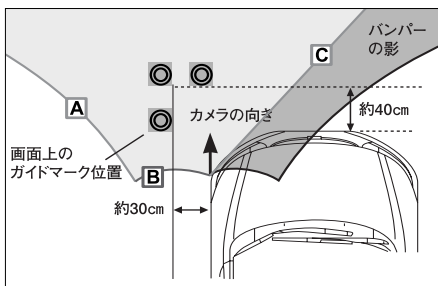
3 画面の見方について

■ガイド表示の見方

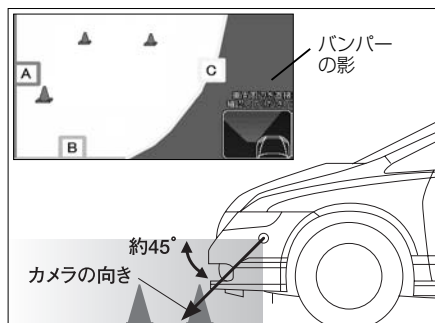
停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うマークが表示されます。



■自車の状況



※A、B、Cのラインは説明のためのイメージです。



コーナーカメラからの映像を見るには

6 オプション



お知らせ

- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - 図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

4 コーナーカメラ映像の操作

コーナーカメラ映像のガイド表示を消去したり、再び表示したりすることができます。



- (1) コーナーカメラ映像を表示しているときに  を
"ピッ" という音が鳴るまで押します。



- (2) **ガイドOFF** にタッチすると、コーナーカメラ映像のガイド表示が消去されます。

- 消去したガイド表示を再び表示するには **ガイドON** にタッチします。

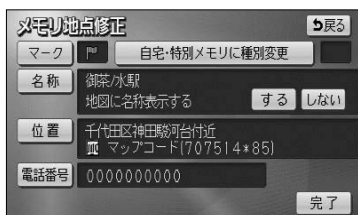


- (3) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。

5 コーナーカメラの映像を表示する地点を指定するには

(1) 指定したい地点をメモリ地点に登録します。

- メモリ地点の登録方法については、P.4-20を参照してください。



(2) 登録したメモリ地点の修正画面（P.4-22参照）で **マーク** にタッチします。



カメラマーク

(3) **マーク2** にタッチして、カメラマークを選択します。

- P.6-10の **1** の (3) の画面で登録地点検知を「する」に設定しているとき、カメラマークで登録したメモリ地点の半径100m以内で停車または低速走行するとコーナーカメラの映像が自動でモニターに映ります。

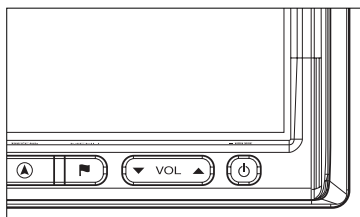


お知らせ

- 指定した地点の半径100m以内でのみカメラ映像を自動で表示させたい場合は、P.6-10の **1** の (3) の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」、登録地点検知を「する」に設定してください。
- 指定する地点はメモリ地点で登録するため、最大106件まで登録することができます。

6 予約モードに設定するには

P.6-10の**1**の(3)の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」に設定しているとき1度だけ、停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像に切り替えることができます。



(1) を2秒以上押します。

- 予約モードに設定され、停車時または低速走行時に1度だけ自動でコーナーカメラの映像に切り替えます。
- 再度、を2秒以上押すと予約モードを解除します。

！ アドバイス

- 予約モードは、次に停車するときコーナーカメラの映像に自動で切り替えたいなど、必要なときだけ自動で切り替えたいときに利用すると便利です。
- 停車中または低速走行中にを2秒以上押した場合は、予約モードに設定せず、その場でコーナーカメラの映像に切り替わります。

リアカメラからの映像を見るには

別売のリアカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

※車両によっては、リアカメラが標準装備されている場合もあります。



注意

- 本機（リアカメラシステム）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認して下さい。
- 雨滴などがレンズ前面カバーに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド表示の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。



お知らせ

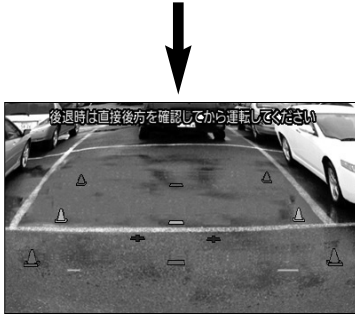
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

1 後方の映像を映すには



(1) バックギアにシフトします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 他にシフトすると通常画面にもどります。



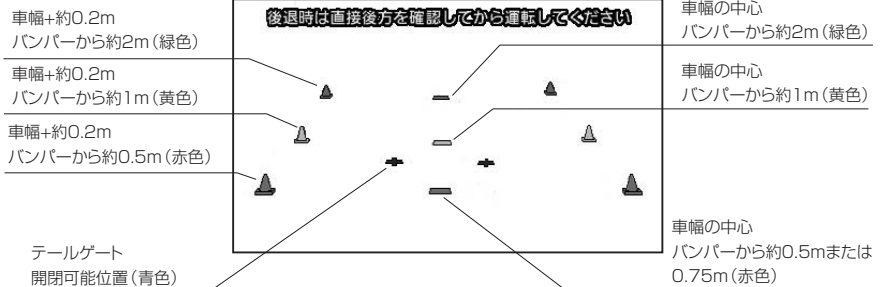
お知らせ

- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。
(P1-26参照)

2 画面の見方について

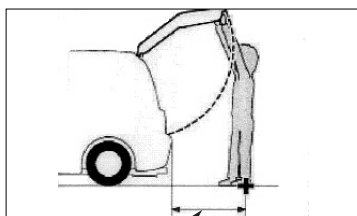
■ガイド表示の見方

バックギアにシフトすると、モニターがリアカメラ（CCDカメラ）の映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うマークが表示されます。



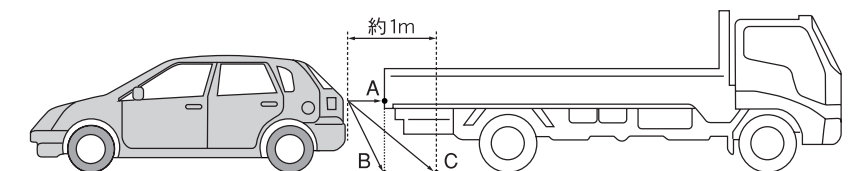


- テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

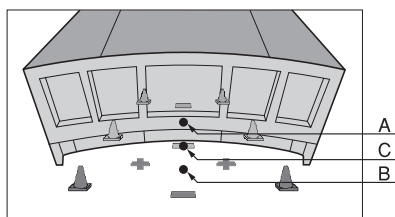


- テールゲートなどの開閉に必要な距離は各販売店にて設定されます。

■自車の状況



■画面の状況



実際には、AとBは自車から同じ距離で、CはAおよびBより遠い距離なのですが、画面上では、手前よりB、C、Aの順に映し出されます。

従って、画面上では、Cの位置(自車から約1m先)に駐車車両(トラック)があるように見えていますが、実際には、Bの位置まで後退するとトラックに接触してしまいます。



お知らせ

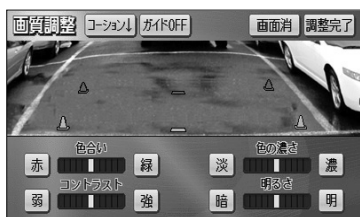
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - 図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- ガイド表示は車種により異なります、販売店にお問い合わせください。

3 リアカメラ映像の操作

リアカメラ映像のガイド表示を消去したり、再び表示したりすることができます。
また、画面を見やすくするため、リアカメラ映像に表示されるコーションの表示位置を調整することもできます。

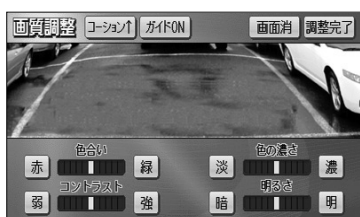


- (1) リアカメラ映像を表示しているときに を"ピッ"という音が鳴るまで押します。



- (2) **ガイドOFF** にタッチすると、リアカメラ映像のガイド表示が消去されます。

- 消去したガイド表示を再び表示するには **ガイドON** にタッチします。



- (3) **コーション↓** にタッチすると、コーションの表示位置が画面下側に移動します。

- コーションを画面上側に移動するには **コーション↑** にタッチします。

- (4) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。



お知らせ

昼画面 はライト点灯時のみ表示されます。(P.1-25参照)



注意

コーションを画面下側に表示すると、車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。
その場合はコーションの表示位置を調整してください。

後席ディスプレイの操作

本機の後席ディスプレイ出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。別売の後席ディスプレイを接続した場合にご覧になります。

詳しくは、後席ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

1 後席ディスプレイに表示される画面について

- 後席ディスプレイには、テレビ・ビデオ機器の映像のみ表示します。
- オーディオOFF、またはテレビ・ビデオ機器以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。



お知らせ

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に問わず映像が表示されるため、走行中でもテレビ・ビデオ機器の映像をご覧になることができます。

2 後席ディスプレイに映像を表示するには

本機で、後席ディスプレイの映像表示、または映像の切り替え操作などを行います。

- 各映像の表示方法については以下をご覧ください。
 - ・地上デジタル放送を見るには（P.7-16参照）
 - ・ビデオカメラ等のモニターとして使うには（P.7-43参照）



お知らせ

後席ディスプレイでは、映像出力のみを行います。オーディオの切り替えや画面の操作を行うことはできません。